

日帰りカテーテル検査を実践

豊橋ハートセンター



鈴木孝彦院長



センター全景

※1

今年5月、愛知県豊橋市に24時間救命救急体制の循環器疾患専門医療施設、「豊橋ハートセンター」がオープンした。

「心温まるやさしい医療を心がける」が当院のモットーという鈴木孝彦院長は、前 国医豊橋東病院副院長、心臓カテーテル、PTCAのエキスパートである。診療科を循環器だけにしぼったのは、専門的に高いレベルの医療を提供するためである。院内の設計も、循環器治療を効率的に行えることを最優先に工夫を施した。規模を大きくしすぎないことにより、大病院にはないすべての患者様への優しい医療の展開を目指している。

また、当センターの特徴として日帰りカテーテル検査がある。PTCAも一泊入院で行っている。これらは患者負担の軽減と、徹底的な医療費の削減につながる。

鈴木院長はこれまでに5万件の心臓カテーテル、1万件のPTCAをこなしてきた。その熟練した治療技術のもと、一日あたり日帰りカテーテル検査は10人前後、PTCAは3-4人、心臓外科手術は毎日1-2件行われている。その他、外科手術の時間短縮、入院日数の短縮も積極的に行っている。実際には救急の患者さんは重症が多く、短縮は困難であるというものの、手術法などさまざまな努力により平均4.8日となっている。これらの質の高い検査や治療の実践には、心臓専門の熟練した熱意ある医師とコメディカルスタッフのチームワークが不可欠である。

※2

スタッフは42名、そのうち医師は8名で、一日平均150人の外来患者さんを診ている。

病床数は19床であるが、血管造影装置2台、ヘリカルCT、超音波などの高度医療機器が整備されており、設備だけでなく、スタッフにも緊急時に効率良く対応できるマニュアルが作られている。

これからも、ますます患者様が納得していただける医療、また、スタッフが患者様に貢献できたと満足のいく医療を行っていききたい、と院長は語った。



鈴木院長とスタッフのみなさん